

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 2 部門第 4 区分
【発行日】 令和 4 年 6 月 3 日(2022.6.3)

【公開番号】 特開 2020-73349(P2020-73349A)
【公開日】 令和 2 年 5 月 14 日(2020.5.14)
【年通号数】 公開・登録公報 2020-019
【出願番号】 特願 2020-18595(P2020-18595)
【国際特許分類】

B 4 3 K 8/06(2006.01)

B 4 3 K 1/12(2006.01)

【F I】

B 4 3 K 8/06

B 4 3 K 1/12 B

10

【手続補正書】

【提出日】 令和 4 年 5 月 26 日(2022.5.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

20

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

筆記具本体から供給されるインクを誘導するペン先を備えた筆記具であって、前記ペン先は、少なくとも筆記部と、保持体とにより構成され、該保持体には表面乃至内部にスリット若しくは突起形状から構成される毛管作用を有するシート状インク誘導部が形成され、シート状インク誘導部に形成されているスリット若しくは突起形状は、その幅が 10～1000 μmであることを特徴とする筆記具。

30

【請求項 2】

筆記具本体から供給されるインクを誘導するペン先を備えた筆記具であって、前記ペン先は、少なくとも筆記部と、保持体とにより構成され、該保持体には表面乃至内部にスリット若しくは突起形状から構成される毛管作用を有するシート状インク誘導部が形成され、シート状インク誘導部は、保持体外周端面より内側に配置されていることを特徴とする筆記具。

【請求項 3】

筆記具本体から供給されるインクを誘導するペン先を備えた筆記具であって、前記ペン先は、少なくとも筆記部と、保持体とにより構成され、該保持体には表面乃至内部にスリット若しくは突起形状から構成される毛管作用を有するシート状インク誘導部が形成され、シート状インク誘導部に形成されているスリット若しくは突起形状は、その幅が 10～1000 μmであると共に、シート状インク誘導部は、保持体外周端面より内側に配置されていることを特徴とする筆記具。

40